

平成 29 年度岩手県山岳協会岩登り講習会兼指導員研修会（報告）

- 1 開催期日：平成 29 年 8 月 6 日（日）
- 2 開催場所：遠野市観音岩（仙人トンネル 遠野市入り口付近）
- 3 参加者：佐藤誠（都南山岳会、副理事長）土井祐之（北上山岳会、指導部長）田所一志（岩手アルパインローズ山岳会、指導員（講師））松山貴章（岩手アルパインローズ山岳会、指導員）渡辺良平（翌檜山岳会、指導員）藤原拓（ハイエストカンパニー、指導部）葦澤優（翌檜山岳会、指導部）阿部清人（岩手アルパインローズ山岳会）吉田克彦（盛岡山岳会）上戸ゆみ（北上山岳会）菊池美雪（和賀町山岳会）見学者 5 名（三浦一彦、高橋健太郎、佐藤慎吾、鈴木誠、佐藤一枝）計 16 名
- 4 報告

9：30 に観音岩基部において開講式を行いました。今回の岩登り講習会兼指導員研修会は、アルパインクライミングの基礎知識・技術の習得について、また、アルパインクライミングにおけるセルフレスキューの知識・技術の習得についての 2 点を目的として開催しました。

まず、田所一志講師（指導部）からセルフビレーにおける支点構築とビレーヤーの脱出について説明があり、その後 2 グループに分かれ講習を行いました。

アルパインクライミングの基礎知識・技術の習得については、「上を向いて登ろう」ルート（10b～10c）をトップロープで登りムーブや登り方、支点構築、ビレーの仕方について学びました。ルートのスタート地点の岩がやや湿っていて苦労しましたが、多くの受講者が完登していました。

アルパインクライミングにおけるセルフレスキューの知識・技術の習得については、トップクライマーが墜落し意識がない状態において、ビレーヤーが荷重のかかっているメインロープから脱出する一連の動作を「不ぞろいのリング達」10a のルートを使い行いました。この際、ロープワークとしてオーバーハンドノット、ムンターヒッチ、インクノット、プルージック、マリナーノット等を使い、空いている時間を利用し各自で繰り返し練習を行ってもらいました。

それぞれの講習を 2 時間ほど行ったあとに入れ換えし、さらに 2 時間ほど講習を行

いました。

14:00 に閉講式に閉講式を行い、その中で「ビレーヤーの脱出について初めて行い有意義だった。」「ロープワークをしっかり覚えたい。」また、秋田県からの参加者（見学者）の方々からは「秋田県ではこのような講習会はないので、また参加したい。」という意見も出されました。

土井祐之（指導部長）



参加者の皆さん



ビレーヤーの脱出



観音岩「上を向いて登ろう」